

2018 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	フレンズかわにし実行委員会
活動テーマ	JR 福知山線列車事故 被災者支援募金イベント ～フレンズかわにし 2018 JR 福知山線列車事故の風化を防ぐためのイベントを企画。事故の被災者を招きトークセッションや音楽ライブを実施。被災者支援窓口の「思いをつなぐ連絡会」へ募金を寄付した。



<活動目的>

1. 事故の風化を防ぐ

事故から13年目をむかえた4月、音楽イベントを通じて被災者への支援活動を支える募金活動を行い、昨年同様に事故の風化をふせぐことを示すチャリティイベントを開催した。

2. 社会への啓蒙活動

あらゆる公共交通機関へ乗り物に対する「安全」を訴えていきたい。勤務される職員、それらを支える関係者の方へも業務に支障がない無理のない職場の環境作りや乗客乗員が相互に安心して利用できるといった公共交通機関に対する運転業務の基本的な安全意識を持っていただけるような機会作りとしたい。

<開催の動機と目的>

JR 福知山線列車事故が発生し、当時この沿線を利用していた川西市内在住の者が中心となり、二度とあのような事故が起こらないように願い、事故の風化を防ぐためにイベントを開催し、被災者への支援として募金活動に取り組んでいる。

<活動実施状況>

活動名：フレンズかわにし 2018

開催日：2018年4月7日（土）開催

活動内容：受付にて思いをつなぐ連絡会が製作した「空色の葉」を配布。メッセージを来場者に記入いただき、募金とともに思いをつなぐ連絡会へ寄付。

当日はプロ・アマチュアバンドらが出演。事故の被災者である山下亮輔さん、「空色の葉」製作の福田裕子さんを特別ゲストとしてお招きし、トークショーを行った。

2018 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	フレンズかわにし実行委員会
活動テーマ	JR 福知山線列車事故 被災者支援募金イベント ～フレンズかわにしメモリアルラン JR 福知山線列車事故の風化を防ぐため、事故に対するメッセージを広く募集し献花台へ届ける チャリティランニングを企画。



<活動目的>

1. 事故の風化を防ぐ

事故から13年目をむかえた4月、イベントを通じて被災者への支援活動を支える募金活動「フレンズかわにし」の会場で来場者に記入いただいた「メッセージカード」を事故現場に届けるランニングイベントを開催した。

2. 社会への啓蒙活動

あらゆる公共交通機関へ乗り物に対する「安全」を訴えていきたい。勤務される職員、それらを支える関係者の方へも業務に支障がない無理のない職場の環境作りや乗客乗員が相互に安心して利用できるといった公共交通機関に対する運転業務への基本的な安全意識を持っていただけるような機会作りとしたい。

<開催の動機と目的>

JR 福知山線列車事故が発生し、当時この沿線を利用していた川西市内在住の者が中心となり、二度とあのような事故が起こらないように願い、事故の風化を防ぐためのイベント「フレンズかわにし」を開催し、被災者への支援として募金活動に取り組んでいる。事故発生から13年にあたり、直接、献花台へメッセージを届けようと企画した。

<活動実施状況>

活動名：フレンズかわにしメモリアルラン

開催日：2018年4月15日（日）開催

活動内容：川西市より尼崎市へ、事故に対する思いを記入した「メッセージカード」をお預かりし上坂部西公園までランニング。メモリアルウォークに参加し、事故現場へこれらをお届けした。

事故現場よりJR尼崎駅前方向へ進み、最終地点となる公園へ移動。

JR福知山線事故の被災者である茶谷友一さんのミニライブにて備品設営をサポートした。

2018 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	フレンズかわにし実行委員会
活動テーマ	フレンズかわにし 救急講習会 2018



＜活動目的＞

1. 福知山線脱線事故の風化を防ぐとともに命の大切さを救急講習会を通じて伝える。
2. 社会への啓蒙活動

あらゆる公共交通機関へ乗り物に対する「安全」を訴えていきたい。勤務される職員、それらを支える関係者の方へも

業務に支障がない無理のない職場の環境作りや乗客乗員が相互に安心して利用できるといった、公共交通機関に対する基本的な意識をお持ちいただけるような機会にしたい。

＜開催の動機と目的＞

JR 福知山線列車事故が発生し、当時この沿線を利用していた川西市内在住の者が中心となり、二度とあのような事故が起こらないように願い、事故の風化を防ぐためにイベントを開催し、被災者への支援として募金活動に取り組んでいる。この度は救急講習会を実施した。

＜活動実施状況＞

活動名：フレンズかわにし救急講習会 2018

開催日：2019年3月24日（日）開催。

受付にて4・25ネットワークはじめ、思いをつなぐ連絡会等のボランティアスタッフが製作した空色の葉を配布。

JWLT 講師による救急講習会を開催。 大阪市内、伊丹市、宝塚市等多方面から参加された。この度の AED 機器は JR あんしん社会財団の訓練機器助成にて貸与された最新式のものであった。